

# 医科学 見聞録

## 焼き肉を食べるにも 注意が必要??



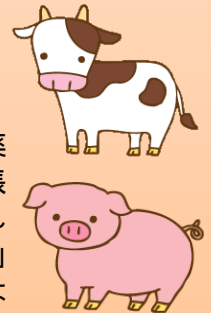
一般社団法人山口県薬剤師会  
常務理事 寺戸 功

世界ボクシング評議会(WBC)バンタム級タイトルマッチで山中慎介選手(帝拳)を破り新王者になったルイス・ネリ選手(メキシコ)がドーピング検査で禁止薬物に陽性反応を示した問題で、米ボクシング専門誌リング(電子版)は、再検査用に採取されていたもう一方の検体(B検体)からも陽性反応があったと報じました。

この一連の事案、試合は京都市で行われ、4回TKOで敗れた山中選手は日本男子最多記録に並ぶ13度目の防衛に失敗。後日、ネリ選手が来日前に受けた検査で筋肉増強作用がある「ジルパテロール」の陽性反応があったことが明らかになっていました。

### ■ジルパテロールとは?

ネリ選手から検出されたジルパテロールとは、主に牛や豚などの家畜の生産過程で扱われる医薬品として知られています。その効果としては筋肉量の増加を促す効果があります。気管支機能を拡張させて心拍数を上げる副作用を起こす事で、家畜の筋肉量や体重の成長に大きな効果が期待されます。いわゆる筋肉増強剤の効果です。ネリ選手は「ジルパテロールの成分を含んだ牛肉を食べた」と主張しているようですが、仮にそのような牛肉を食べたからと言っても、検査で陽性反応を示すには牛1頭をまるまる食べつくす必要があるようです。つまり、通常の量では問題ないと思われず。



ひと昔前では同様のケースとして豚肉の肉質を変える為に使用するクレンプテロールが有名でしたが、いずれにしても、アスリートとしては「知らなかった」では済まされない事もあります。体を鍛えるだけでなく、食生活においても常に情報収集し、学ぶことも必要ですね。